

高田川新聞

2016年8月29日 発行
高田川部屋後援会事務局
〒135-0024
東京都江東区清澄2-15-7
www.takadagawa.com

大相撲九月場所

平成28年9月11日より
15日間
於 両国国技館

輝真の幕内めぐり



輝 挑戦から羽化へ

平成二十八年名古屋場所、うだるような暑さの中、愛知県体育館では再入幕を果たした輝を筆頭に、十八名の高田川部屋力士たちが熱戦に挑んだ。しかし、上位力士は「ここぞとく敵しい戦いを強いられ、黒星が目立った。結果、勝ち越せば夏場所と同じ七力士のみ。しかもそのほとんどが下位の力士たちだった。」

今年初場所、新入幕で四勝十一敗と幕内の壁に撥ね返されてしまった輝。満を持して臨んだ再入幕の名古屋場所でも黒星スタートで四日目を終わって一勝三敗で押し倒した。

再び、高田川親方の激が飛ぶ。五日目、幕内には勝ったが、翌日また黒星。ようやく九日目から三連勝したもの、その後三連敗して負け越し。千秋楽は、気合よく白星をあげ、七

勝ながら土俵際でなんとか幕内に踏みとどまった。名古屋場所の輝は、幕内力士として堂々の立ち合い、攻めができていたように思われた。十両ならば楽々勝っていたはずだ。しかし、幕内の力士は、それでは落ちない、崩れない。それどころか、一瞬の隙をついて反撃に転じる。厚みのある重い体、速い攻め。その上、戦う技術もある。そうやすやすとは勝たせてくれない。

ただ、初場所のような幼さを感じられなかった。勝った取組では確実に進化が見てとれる。特に、郷里の先輩、遠藤には敵しいのどわで押し倒した。

今、輝は十両力士という幼虫からさなぎとなり、真の幕内力士へ羽化している。真の最中なのだ。力を蓄え、技を磨いて、大きく羽をを広げて高く飛び立ってこれるか、ことを皆が期待している。

輝真の幕内めぐり



輝真の幕内めぐり

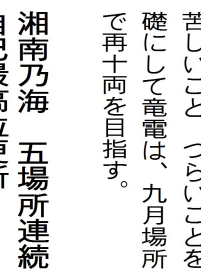
五月場所、竜電は幕下東の三枚目と、勝ち越せば三年半ぶりの十両復帰のチャンスだったが、大きなプレッシャーから攻めきれず最後の一番も落とす、負け越し。再十両という夢はお預けとなってしまう。周りからの叱責や失望の言葉、そして何より自身自身のメンタルの弱さに悔しさがかみ上がった。「クソー、絶対にやってくれる」と、そんな思いで臨んだ名古屋場所。初戦の天鏡鵬から悔しさをぶつけるように激しい立ち合いから前へ前へ。速い攻めで差し勝って寄り倒した。圧巻は、勝ち越した飛翔富士戦。一九五キロと格段に重い相手と真正面からぶつかり組んでの力相撲。気持ちでも負けていなかった。大きな相手にスクールの大きな相撲で寄り切った。勝ち越しても気持ちをおぼれず、岩崎戦では相手に二本差された不利な体勢からも堪え続け、最後は粘り強い相撲で長い相撲を制した。

「クソ」とは、「何苦礎」という仏教用語からきた言葉だそう。何事も苦しいことが礎(いしづえ)となる。

五月場所、竜電は幕下東の三枚目と、勝ち越せば三年半ぶりの十両復帰のチャンスだったが、大きなプレッシャーから攻めきれず最後の一番も落とす、負け越し。再十両という夢はお預けとなってしまう。周りからの叱責や失望の言葉、そして何より自身自身のメンタルの弱さに悔しさがかみ上がった。「クソー、絶対にやってくれる」と、そんな思いで臨んだ名古屋場所。初戦の天鏡鵬から悔しさをぶつけるように激しい立ち合いから前へ前へ。速い攻めで差し勝って寄り倒した。圧巻は、勝ち越した飛翔富士戦。一九五キロと格段に重い相手と真正面からぶつかり組んでの力相撲。気持ちでも負けていなかった。大きな相手にスクールの大きな相撲で寄り切った。勝ち越しても気持ちをおぼれず、岩崎戦では相手に二本差された不利な体勢からも堪え続け、最後は粘り強い相撲で長い相撲を制した。

「クソ」とは、「何苦礎」という仏教用語からきた言葉だそう。何事も苦しいことが礎(いしづえ)となる。

輝真の幕内めぐり



輝真の幕内めぐり

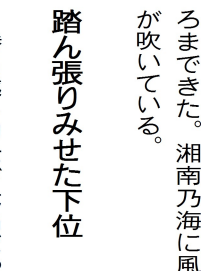
五月場所、竜電は幕下東の三枚目と、勝ち越せば三年半ぶりの十両復帰のチャンスだったが、大きなプレッシャーから攻めきれず最後の一番も落とす、負け越し。再十両という夢はお預けとなってしまう。周りからの叱責や失望の言葉、そして何より自身自身のメンタルの弱さに悔しさがかみ上がった。「クソー、絶対にやってくれる」と、そんな思いで臨んだ名古屋場所。初戦の天鏡鵬から悔しさをぶつけるように激しい立ち合いから前へ前へ。速い攻めで差し勝って寄り倒した。圧巻は、勝ち越した飛翔富士戦。一九五キロと格段に重い相手と真正面からぶつかり組んでの力相撲。気持ちでも負けていなかった。大きな相手にスクールの大きな相撲で寄り切った。勝ち越しても気持ちをおぼれず、岩崎戦では相手に二本差された不利な体勢からも堪え続け、最後は粘り強い相撲で長い相撲を制した。

「クソ」とは、「何苦礎」という仏教用語からきた言葉だそう。何事も苦しいことが礎(いしづえ)となる。

五月場所、竜電は幕下東の三枚目と、勝ち越せば三年半ぶりの十両復帰のチャンスだったが、大きなプレッシャーから攻めきれず最後の一番も落とす、負け越し。再十両という夢はお預けとなってしまう。周りからの叱責や失望の言葉、そして何より自身自身のメンタルの弱さに悔しさがかみ上がった。「クソー、絶対にやってくれる」と、そんな思いで臨んだ名古屋場所。初戦の天鏡鵬から悔しさをぶつけるように激しい立ち合いから前へ前へ。速い攻めで差し勝って寄り倒した。圧巻は、勝ち越した飛翔富士戦。一九五キロと格段に重い相手と真正面からぶつかり組んでの力相撲。気持ちでも負けていなかった。大きな相手にスクールの大きな相撲で寄り切った。勝ち越しても気持ちをおぼれず、岩崎戦では相手に二本差された不利な体勢からも堪え続け、最後は粘り強い相撲で長い相撲を制した。

「クソ」とは、「何苦礎」という仏教用語からきた言葉だそう。何事も苦しいことが礎(いしづえ)となる。

輝真の幕内めぐり



輝真の幕内めぐり

五月場所、竜電は幕下東の三枚目と、勝ち越せば三年半ぶりの十両復帰のチャンスだったが、大きなプレッシャーから攻めきれず最後の一番も落とす、負け越し。再十両という夢はお預けとなってしまう。周りからの叱責や失望の言葉、そして何より自身自身のメンタルの弱さに悔しさがかみ上がった。「クソー、絶対にやってくれる」と、そんな思いで臨んだ名古屋場所。初戦の天鏡鵬から悔しさをぶつけるように激しい立ち合いから前へ前へ。速い攻めで差し勝って寄り倒した。圧巻は、勝ち越した飛翔富士戦。一九五キロと格段に重い相手と真正面からぶつかり組んでの力相撲。気持ちでも負けていなかった。大きな相手にスクールの大きな相撲で寄り切った。勝ち越しても気持ちをおぼれず、岩崎戦では相手に二本差された不利な体勢からも堪え続け、最後は粘り強い相撲で長い相撲を制した。

「クソ」とは、「何苦礎」という仏教用語からきた言葉だそう。何事も苦しいことが礎(いしづえ)となる。

五月場所、竜電は幕下東の三枚目と、勝ち越せば三年半ぶりの十両復帰のチャンスだったが、大きなプレッシャーから攻めきれず最後の一番も落とす、負け越し。再十両という夢はお預けとなってしまう。周りからの叱責や失望の言葉、そして何より自身自身のメンタルの弱さに悔しさがかみ上がった。「クソー、絶対にやってくれる」と、そんな思いで臨んだ名古屋場所。初戦の天鏡鵬から悔しさをぶつけるように激しい立ち合いから前へ前へ。速い攻めで差し勝って寄り倒した。圧巻は、勝ち越した飛翔富士戦。一九五キロと格段に重い相手と真正面からぶつかり組んでの力相撲。気持ちでも負けていなかった。大きな相手にスクールの大きな相撲で寄り切った。勝ち越しても気持ちをおぼれず、岩崎戦では相手に二本差された不利な体勢からも堪え続け、最後は粘り強い相撲で長い相撲を制した。

「クソ」とは、「何苦礎」という仏教用語からきた言葉だそう。何事も苦しいことが礎(いしづえ)となる。

ち越しが始まった。夏場所は一勝三敗から、名古屋場所も二勝三敗と後がないところから連勝して勝ち越しを決めた。気迫の五場所連続の勝ち越し、同じく自己最高位も五場所連続更新し、ついに幕下に手が届くところまで来た。湘南乃海に風が吹いている。

踏ん張りみせた下位
勝ち越し力士が七名だった名古屋場所、名古屋出身の剛力山が高田川部屋力士最多の六勝と、ご当地場所を盛り上げた。実家から車で十五分。家族や友人も応援に駆けつけてくれた。十七歳の姪からは「がんばってね」とお菓子の差し入れももらった。地元の声援は、何よりの後押しになった。

幕下勢 出直しの場所
竜電を除く、幕下勢に覇気が感じられなかった。夏場所では東の筆頭にまで上りつめた白鷹山が体調を崩し二十キロも痩せて、相手力士に押し負け、力負けして二勝五敗。安芸乃川も思い切りの悪い相撲が目立ち、どうにか三勝四敗としたが、またも負け越し。安芸乃川は連勝スタートしたものの、攻めながら相手に競り負け、終わってみればまさかの五連敗。ようやく幕下定着かと思われた大神風も五敗して陥落確定と、期待の幕下勢が大きく番付を下げるようになった。

相撲で勝つためには基本が一番大切なことではないだろうか。強い立ち合い、前に出て、下から下から相手を攻める気迫の相撲。「関取」に一番近い前途有望な幕下勢には、改めて、体調を整え、気持ちを整えて基本に忠実な相撲で出直してほしいと言いたい。

＜トピックス＞
日本相撲協会公認漫画家
琴剣さんデザインの輝グッズがあるのをご存知でしょうか。
似顔絵入りのランチバッグ(縦20cm、横30cm)とキャラクターマグネット。
今年新発売されました。
ランチバッグはミニートバッグとしても重宝しそうです。
両国国技館1階正面東の売店
琴剣コーナーでぜひ探してみてください。

三役行司 式守勘太夫の目
輝関、五月場所は序盤、勝四敗、七月場所も一勝三敗スタートと冷や冷やさせられた。部屋も全体的に中盤盛り返し型。皆共通して、エンジンがかかるのに少し時間がかかる。師匠が「土俵に命を懸けて闘え」と繰り返すも同じパターンが繰り返されていく。入門から四十一年、稽古を見てきた私からのアドバイスは「稽古場に立った最初の相撲は絶対負けない。一つのこだわりを毎日繰り返すだけ緊張が見せたい。」

ちやんこ長 櫻のすもものす
力士の食事は全て「ちやんこ」といいます。鍋だけでなく、カレーでも焼肉でもちやんこ。ちやんこの有力な語源は2つで、「ちやん=中国」「こ=鍋」が転じた。もう1つは相撲部屋では「親方=お父さん=ちやん」と子、つまり師匠と食べる親子鍋。高田川部屋の鍋は、味のベースが8つ。具材の組み合わせを変えると約30種類のちやんこができます。

幕内	輝
先場所 7勝8敗	先場所 7勝8敗
立ち合いで当たり負けしなくなり、攻めている時は自分らしい相撲が取れたが、特に前半戦の動きが悪く、痛星を落とした。幕内二場所目、最低でも初勝ち越しする。	立ち合いも鋭く踏み込んで先に攻めることができた。強い気持ちで、冷静な相撲で勝ち越して必ず上上がる。ついに三番は勝ったが、引いてはかなりの相撲になってしまった。積極的に前に出る相撲を取って勝ちたい。
前大將	太熊
先場所 5勝2敗	先場所 2勝5敗
二の勢いをたぎって連続勝ち越しを狙った。最後の二番、落ち着いて大事に相撲が取れて五勝できた。名古屋はよく体が動いて勝ち越せた。もともと立ち合いを強くして来場所も勝ち越せるように頑張りたい。	次の場所と勝ち越せるように頑張りたい。
須磨ノ滝	暁
先場所 2勝5敗	先場所 3勝4敗
メンタルに波があり、大勝ちしたり大負けしたりしている。精神統を、勝ち自分の形を作っていく。	勝ちたいという焦りから悪形になって肝心の土俵を落とした。気持ちを切り替え直して次々勝ち越したい。
恵比寿丸	前乃富士
先場所 1勝6敗	先場所 4勝3敗
大負けの悔しさを糧にして、稽古本場所、一番一番大事に相撲を取って勝ちたい。	復讐までおとす、と思いが燃やらずに治してまた土俵に上がるように、自分の力を取り返す。
大雷壺	勝武士
先場所 全休	先場所 4勝3敗
後半、目先の結果に因り、消極的な相撲になってしまった。常に平常心を、思い通りの相撲を取りきたい。	復讐までおとす、と思いが燃やらずに治してまた土俵に上がるように、自分の力を取り返す。
鶴乃湖	大野城
先場所 2勝5敗	先場所 3勝4敗
二連勝したものの暑さで疲れも調整不足で残り全敗。気負いを入れ直して大勝負目標と頑張りたい。	まわしを取ることに拘りすぎて当たりが弱くなってしまう。自分の形を作って最後まで諦めない相撲を取りたい。
大野城	大神風
先場所 2勝5敗	先場所 2勝5敗
少体重量が落ちて踏ん張りがきかなくなり、また体を作り直して二花咲かすつもりで頑張りたい。	まわしを取ることに拘りすぎて当たりが弱くなってしまう。自分の形を作って最後まで諦めない相撲を取りたい。
大衆	湘南乃海
先場所 3勝4敗	先場所 4勝3敗
最高勝率は近ごろでそれなりに満足いく相撲を取れた。来場所は手を出して前に出たい相撲を取りたい。	小さい相手押し出されなく、しっかりと考え、稽古した。幕内上がれるチャンスなので必ず勝ち越したい。
白鷹山	安芸乃川
先場所 2勝5敗	先場所 2勝5敗
健康を留意して大勝を目指したい。	体を動かして体が熱く、準備ができて、二歩が出なかった。最後の詰めをしっかりとやってみよう。
安芸乃川	竜電
先場所 3勝4敗	先場所 5勝2敗
ついに幕下に手が届くところまで来た。湘南乃海に風が吹いている。	立ち合いも鋭く踏み込んで先に攻めることができた。強い気持ちで、冷静な相撲で勝ち越して必ず上上がる。ついに三番は勝ったが、引いてはかなりの相撲になってしまった。積極的に前に出る相撲を取って勝ちたい。
幕下	竜電
先場所 5勝2敗	先場所 5勝2敗
立ち合いも鋭く踏み込んで先に攻めることができた。強い気持ちで、冷静な相撲で勝ち越して必ず上上がる。ついに三番は勝ったが、引いてはかなりの相撲になってしまった。積極的に前に出る相撲を取って勝ちたい。	立ち合いも鋭く踏み込んで先に攻めることができた。強い気持ちで、冷静な相撲で勝ち越して必ず上上がる。ついに三番は勝ったが、引いてはかなりの相撲になってしまった。積極的に前に出る相撲を取って勝ちたい。

※表記の番付は正式発表前の予想

高田川部屋 千秋楽祝賀会
平成28年9月25日(日) 午後6時 開場
※会場は高田川部屋にて(会費制)
高田川部屋では15歳から22歳までの力士を目指す若者を随時募集しております。
新弟子募集、四人マス席、千秋楽祝賀会、後援会など
各お問い合わせ・お申込み 行司 式守勘太夫 まで
電話 090-3215-6524



ちやんこ長 櫻のすもものす
力士の食事は全て「ちやんこ」といいます。鍋だけでなく、カレーでも焼肉でもちやんこ。ちやんこの有力な語源は2つで、「ちやん=中国」「こ=鍋」が転じた。もう1つは相撲部屋では「親方=お父さん=ちやん」と子、つまり師匠と食べる親子鍋。高田川部屋の鍋は、味のベースが8つ。具材の組み合わせを変えると約30種類のちやんこができます。